

1950年 (昭和25年)

本会が設立された1950年は、ゴム工業にとって大きな転換の年であった。第一に、1937年12月の生ゴムの輸入配給統制に始まり、その後、資材・製品の生産、販売、輸出等の各分野に及んだ統制が、この年4月までにほとんど全面的に撤廃されたこと。第二に、1949年ドッジ・ライン実施の影響による不況のもとで、過剰生産に陥るといった脅威にさらされたが、朝鮮戦争の勃発を契機とした特需の発生からピンチを脱出し、めざましい発展を遂げた。

本会の主要業務活動等

- 7月 日本ゴム工業会創立総会、初代会長に石橋正二郎氏が就任（20日）
- 8月 朝鮮動乱の長期化と国際情勢の緊迫化に鑑み、約半年分の消費量を目標とした生ゴム、ラテックスおよびくずゴムの備蓄輸入を政府に陳情（12月に再度陳情）
- 10月 ゴム用綿布の確保対策について通産省はじめ関係当局に陳情

ゴム産業関連事項

- 1月 民間輸入貿易再開
 - 〃 自動車、自転車の新車用タイヤ・チューブ以外のゴム製品、指定生産資材解除
 - 〃 兵庫ゴム工業会創立
- 2月 岡山ゴム工業会創立
- 3月 兵庫県ゴム工業協同組合創立
 - 〃 ゴムホース、ゴムベルト、ゴム引布、運動具およびもみすりロールの公定価格廃止
 - 〃 自転車タ・チの配給規制廃止
- 4月 ゴム引布工業会創立
 - 〃 自動車タ・チ、自転車タ・チ、履物、練生地、再生ゴムおよびくずゴムの公定価格廃止
 - 〃 自動車・自転車の新車用タ・チの統制解除（ゴム製品の統制解除完了）
- 5月 再生ゴム工業会創立
- 8月 生ゴムのAA制（Automatic Approval System）による第1回輸入公表
 - 〃 中国ゴム工業協同組合創立
- 9月 合成ゴム初めて輸入公表の独立項目となる
- 10月 神戸ゴム取引所創立総会（第1次）
- 11月 生ゴム相場暴騰（11/29 神戸現物 230円）

政治・経済・社会情勢

- 1月 千円札発行
- 6月 朝鮮戦争勃発、特需ブーム起こる
- 7月 マ元帥、政府に警察予備隊創設、海上保安庁の増員を指令
 - 〃 レッド・パージ始まる
- 8月 輸入貿易管理令改正（輸入の自動承認制実施）公布
- 10月 ドッジ公使再来日、デイスインフレ政策堅持声明
 - 〃 国土総合開発基本方針発表
 - 〃 鉱工業生産指数がはじめて戦前の基準値を超える

参考データ

公定歩合の動き

GNP
(名目/暦年)

四輪車生産台数

新ゴム消費量

.....

3兆9,470億円

32千台
前年比：10.3%

58千トン